

□ 要請番号 (JL13917A02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
サモア	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・2017/3・2017/4・ 2018/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ文化省

2) 配属機関名 (日本語)

マノノ・ウタ小学校

3) 任地 (ウポル島マノノ・ウタ) JICA事務所の所在地 (アピア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

地方にある中規模公立小学校。当国の小学校は1月開始、12月終了で4学期制。8年制で5-12歳の児童が在籍する。日本同様、担任教師が全教科を指導する。同校は児童数約270名。教師数7名。現在、5・6年生が複式学級のため7学級。2017年1月から米国ピースコー(女性)が英語指導を行っている。年間予算約120万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の小学校の問題点として理科・算数の基礎学力が低いことが挙げられ、教師の指導法の改善が求められている。特に理科に関しては、十分な知識や指導経験をもった教師が不足している。教育省は、2014年から指導法改善のため授業研修の実施を推進しており、各小学校に派遣されているJV(青年海外協力隊)が児童を中心とする指導法の提案や現場教師への支援を行っている。同校にも指導法の習得に関心のある教師が在籍するが、現地教師のみで指導力向上のための取組をすることは難しく、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 7・8年生(日本の小学6年生、中学1年生にあたる)の理科および算数を主に担当し、担任教師と共に(あるいは単独で)授業を行う。約20コマ/週
- 理科および算数の効果的な指導法を教師に助言し、改善を図る。
- 身近にある物を活用した教材・教具の開発や教師を対象にしたワークショップを実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

コピー機、パソコン、個人用デスク、教室(机と椅子)、校庭

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(男性:29歳)

※校長が高学年の理数科目を担当しているため、カウンターパートとなる。

同僚教師(男性1名、女性5名)計6名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：(大卒) 備考：教育省による指定

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

[参考情報]：

- ・中・高教員(教科不問)免許でも可

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

活動には英語に加え、サモア語が必要になる。サモア語は赴任後、10日間程度の語学研修を行う。